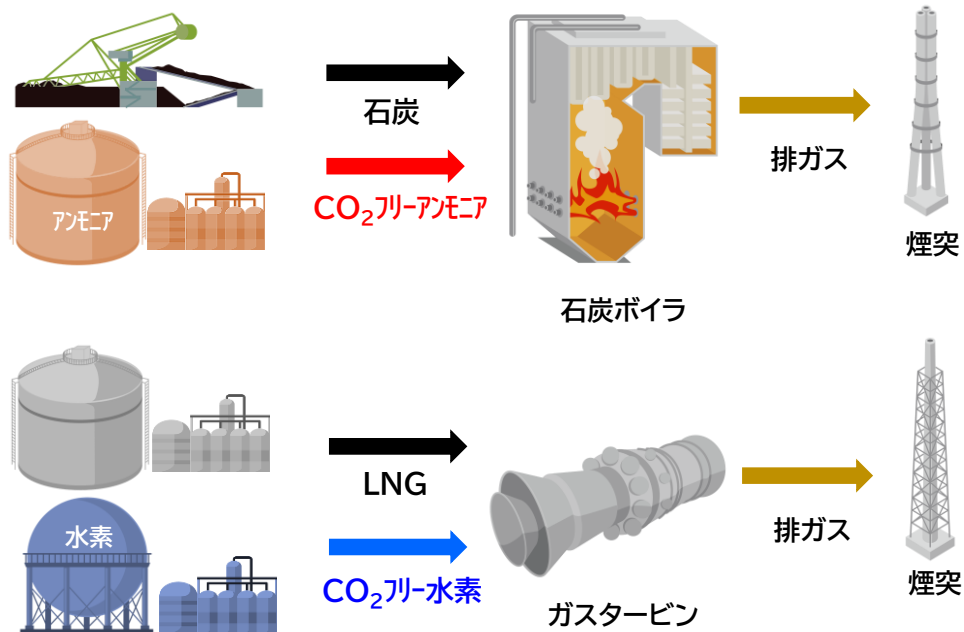


火力のCO₂排出「実質ゼロ」

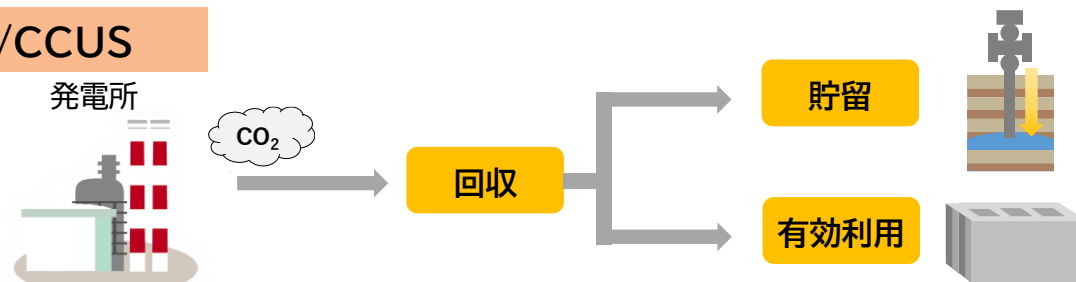
火力+ 新技術等

- 火力は、再エネの出力変動に対する調整力として、再エネ導入拡大と安定供給の両立を図るために引き続き重要な役割を担う電源です。
- 引き続き、更なる高効率化に取り組むとともに、燃焼時にCO₂が発生しない水素・アンモニアの混焼、将来的な専焼化を目指します。
- また、CO₂の回収・貯留などを行うCCS/CCUSの実用化に挑戦するとともに、再エネ余剰電力を活用したCO₂フリー水素・アンモニアの製造検討や、サプライチェーンの構築などについても取り組みます。
- 非効率石炭火力については、供給力やエネルギー供給コスト、立地地域の事情などを勘案し、2030年までのフェードアウトを目指します。

水素・アンモニア混焼



CCS/CCUS



水素・アンモニアのサプライチェーン

